

## NEWS LETTER(調査レポート)

はたらく部、全国の中高校生に学校生活・キャリア教育に関わる意識調査を実施

家族や学校関係者以外の大人に進路の相談をできている学生は5%、  
学校では「職業体験、見学の機会」は十分に行われていないため  
「将来について考える機会が少なく、具体的なイメージができていない」と回答

中高校生向けキャリア教育事業「はたらく部」を運営する株式会社RePlayceは、全国に住む中高生の意識と実態を明らかにするため、「学校生活・キャリア教育に関わる意識調査」を行いましたので、ご報告いたします。

学校活動において十分に行われていないものとして、24.7%が「職業見学、職業体験の機会」を挙げ、もっと充実させてほしいと思うものでも16.7%が挙げており、「他校の学生との交流」と併せて上位になりました。

進路相談相手については「自分の親」「学校の友人・先生」が主で、「家族や親戚、学校関係者以外の大人」は全体で5.5%に留まり、キャリア教育の相手が非常に限定的となっています。学校の先生への評価では、ネガティブ（自分の進路、希望する職業、夢について知らない、分かっていない）がポジティブを上回っており、学校の先生だけに頼らないキャリア教育の機会が必要とされるものの、相談したい相手として「家族や親戚、学校関係者以外の大人」は6.9%となっており、学校外の社会人と対話する機会がある、相談できる相手がいることの認知も拡大していく必要があると言えます。

将来はたらくイメージを具体的に考えている学生は50%となりましたが、その取り組み内容は「勉強」が18%であり、「将来・進路について考える」「自分に何ができるのかを考える」といった内省・自己分析を挙げた人は3~4%程度に留まりました。

また、将来やりたい仕事がある、取り組みがある人では、将来に対する自信や肯定感や対人関係の積極性が総じて高くなっており、キャリアの具体像があることで、学生生活に前向きな変化をもたらすものと考えられます。

## 中学生

- ・将来について考える機会が少なく、具体的なイメージができていない
- ・将来への不安は「やりたい仕事をするために／見つけるために何をすればいいかわからない」が強い
- ・将来の仕事に関する「情報」「方法」「知識や資格」への活動は必要だと感じているものの、実際に行動できていない

将来に対しての具体的な仕事像を持っている人は半数以下であり、何をすればいいかわからない人も多い。  
多くの職業の魅力に触れることで、キャリアに対する興味自体を底上げしていくことが必要。

## 高校生

- ・職場見学、職業体験の機会が十分に行われていないと感じ、同じ学校の学生同士の交流に次いでもっと充実させてほしいと思っている
- ・暗い、不安、曖昧といったネガティブイメージが高い
- ・具体的な仕事のイメージは学年が進むにつれ高くなり、将来に向けての取り組み率は高2から上昇する
- ・「やりたいことのために自分が努力し続けられるかどうか」の不安が強い
- ・「自分が尊敬できる人の考え方や動き方を真似る」行動が高い。

職業について考える機会が増え、具体的な仕事についての取り組みも増えていくが、同時に不安感も増えている。具体的な取り組みの一環としての職場見学・職業体験の機会、第一線で活躍する社会人との交流が高校生のニーズに合うと言える。

現在、日本の企業社会は30年ぶりとも言われる急激な転換期にあります。変わろうとする日本企業はその社員たちにも変わって欲しいと思っており、それは「キャリア自律」と言われてきました。また、多様な人材獲得の観点から中途採用で即戦力を獲得したいと思う企業が大企業でも増加し、実際にこの10年ほどで中途採用での採用割合は10%から40%へと急上昇しています。こうした結果、キャリアチェンジの回数が増えているのです。そのなかで持続可能で豊かなキャリアをつくるために「自分はどんな仕事をしたのか」を考えることは会社任せではなく、ひとりひとりが考えられる最初のテーマです。

まずは、職業について考える機会を学校内外で増やしていくこと、そしてそれによって生じる「不安」を多様な社会人とコミュニケーションをすることで取り除いていくこと、本調査はこの2点の重要性を浮き彫りにしています。

### 古屋 星斗 「はたらく部」特別顧問

一般社団法人スクール・トゥ・ワーク代表理事。  
2011年一橋大学大学院 社会学研究科総合社会科学専攻修了。同年、経済産業省に入省。  
産業人材政策、投資ファンド創設、福島の復興・避難者の生活支援、政府成長戦略策定に携わる。  
2017年より現職。労働市場について分析するとともに、若年人材研究を専門とし、次世代社会のキャリア形成を研究する。

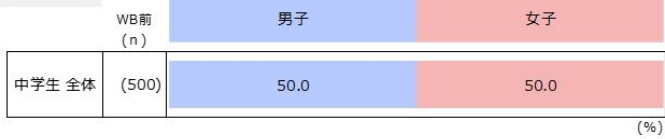


## 概要調査

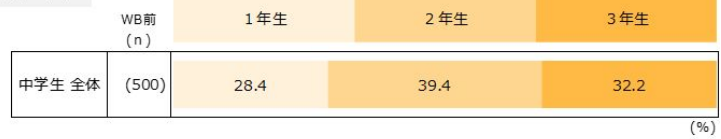
調査手法	インターネット調査		
調査パネル	楽天インサイトパネル（一般・スペシャルパネル）		
調査地域	全国		
対象者条件	中学生／高校生		
割付 サンプルサイズ		男子	女子
	中学生	250	250
	高校生	135	250
	※各セル250を目標にサンプル回収 ※本調査は各セル均等になるようにウエイトバック集計を実施。報告書上のn数はウエイトバック前のサンプルサイズを表示		
設問数	スクリーニング調査5問＋本調査22問 合計27問		

## 回答者プロフィール（中学生）

### <性別>



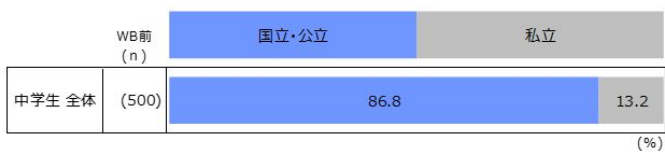
### <学年>



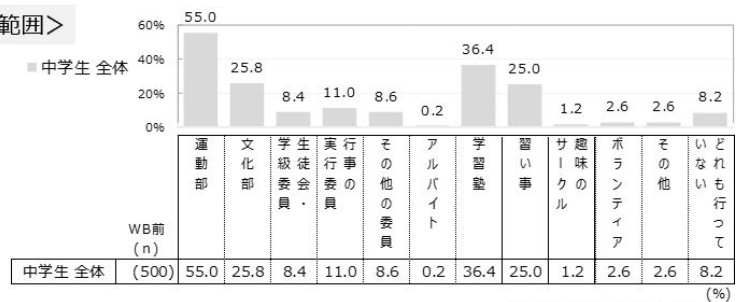
### <居住地 (都道府県)>

都道府県	割合 (%)
北海道	3.4
青森	0.8
岩手	0.8
宮城	2.2
秋田	0.8
山形	0.2
福島	0.4
茨城	2.0
栃木	1.0
群馬	0.8
埼玉	7.0
千葉	3.8
東京	13.0
神奈川	9.4
新潟	1.6
富山	0.4
石川	0.6
福井	0.6
山梨	0.4
長野	0.6
岐阜	2.4
静岡	3.4
愛知	5.8
三重	1.0
滋賀	1.4
京都	3.8
大阪	7.6
兵庫	6.2
奈良	1.2
和歌山	0.6
鳥取	1.2
島根	0.4
岡山	1.0
広島	2.0
山口	0.4
徳島	1.0
香川	0.6
愛媛	1.4
高知	0.8
福岡	3.8
佐賀	0.6
長崎	1.0
熊本	1.0
大分	0.6
宮崎	0.2
鹿児島	0.6
沖縄	0.2
首都圏	33.2

### <学校の種類>

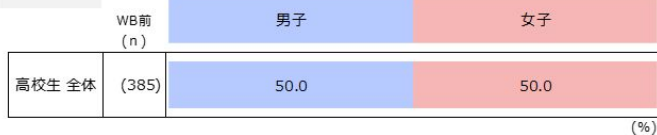


### <活動範囲>

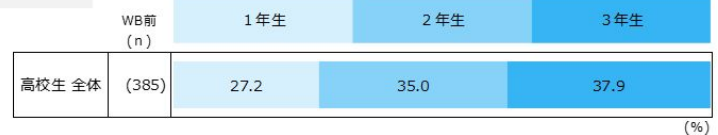


## 回答者プロフィール（高校生）

### <性別>



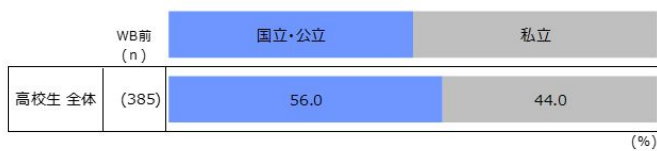
### <学年>



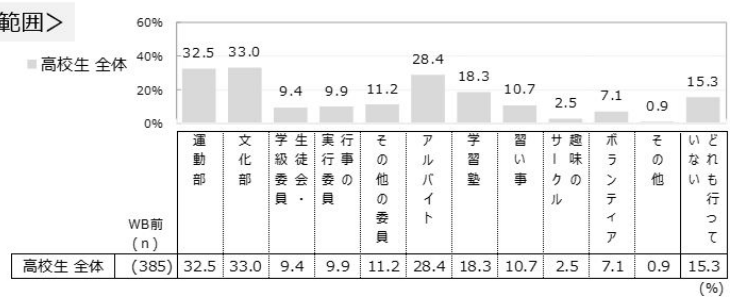
### <居住地 (都道府県)>

都道府県	割合 (%)
北海道	3.3
青森	1.9
岩手	1.5
宮城	1.9
秋田	0.8
山形	0.6
福島	0.8
茨城	1.2
栃木	0.4
群馬	1.2
埼玉	5.5
千葉	6.2
東京	11.3
神奈川	10.4
新潟	1.5
富山	1.7
石川	1.3
福井	0.4
山梨	0.0
長野	1.6
岐阜	1.7
静岡	2.1
愛知	7.6
三重	2.5
滋賀	1.5
京都	2.7
大阪	6.5
兵庫	6.3
奈良	1.0
和歌山	0.0
鳥取	0.4
島根	0.8
岡山	0.6
広島	2.5
山口	0.2
徳島	0.4
香川	0.2
愛媛	1.7
高知	0.7
福岡	2.3
佐賀	1.2
長崎	0.8
熊本	0.8
大分	0.6
宮崎	0.2
鹿児島	0.4
沖縄	0.8
首都圏	33.4

### <学校の種類>



### <活動範囲>



# NEWS LETTER(調査レポート)

## ■学校生活の満足度

- ・学校の満足度(楽しいか)については、「ポジティブ(8-10)」が4割半ばを占めています。
- ・「ニュートラル(4-7)」も4割半ば、「ネガティブ(1-3)」は約1割です。
- ・中学生/高校生ともに、概ね4割半ばが学校生活を楽しいと感じています。
- ・ただし、高校女子および高校2年生についてはネガティブな評価がやや高めとなりました。

### Q1.現在の学校生活についてお伺いします。学校生活は楽しいですか。

		WB前 (n)	1 まったく楽しくない	2	3	4	5	6	7	8	9	10 とても楽しい
全体		(885)	2.8	2.4	4.6	5.2	11.6	12.0	16.8	21.7	9.4	13.4
中学生	中学生計	(500)	2.0	4.0	2.4	11.6	13.0	20.2	24.2	10.2	11.0	
	男子	(250)	4.0	2.8	9.2	13.2	21.6	25.6	11.6	10.0		
	女子	(250)	3.6	4.0	2.0	14.0	12.8	18.8	22.8	8.8	12.0	
	1年	(142)	4.2	3.5	9.9	12.7	22.5	21.8	12.7	10.6		
	2年	(197)	2.0	4.6	2.5	12.7	11.7	18.8	24.4	10.2	12.2	
	3年	(161)	3.7	3.1	11.8	14.9	19.9	26.1	8.1	9.9		
	首都圏	(166)	3.0	3.0	5.4	9.6	11.4	17.5	24.7	10.8	13.3	
	その他	(334)	4.5	12.6	13.8	21.6	24.0	9.9	9.9			
高校生	高校生計	(385)	4.3	2.7	5.2	8.0	11.7	11.0	13.4	19.2	8.6	15.9
	男子	(135)	3.0	4.4	8.9	8.1	10.4	14.8	20.7	9.6	18.5	
	女子	(250)	5.6	4.0	6.0	7.2	15.2	11.6	12.0	17.6	7.6	13.2
	1年	(95)	2.1	3.6	7.0	8.4	9.1	12.6	30.5	9.1	16.2	
	2年	(139)	8.3	4.5	4.4	9.3	12.2	10.0	14.4	14.5	9.2	13.1
	3年	(151)	2.1	2.1	7.2	7.6	13.5	13.3	13.1	15.3	7.7	18.2
	首都圏	(127)	4.1	3.5	7.5	8.6	14.5	14.2	18.4	5.7	21.7	
	その他	(258)	4.4	3.2	6.1	8.3	13.2	9.2	13.0	19.6	10.1	12.9

※選択肢 (1:まったく楽しくない ~ 10:とても楽しい) ※ネガティブ=1~3 ニュートラル=4~7 ポジティブ=8~10

※2%未満のスコアは非表示 (%)

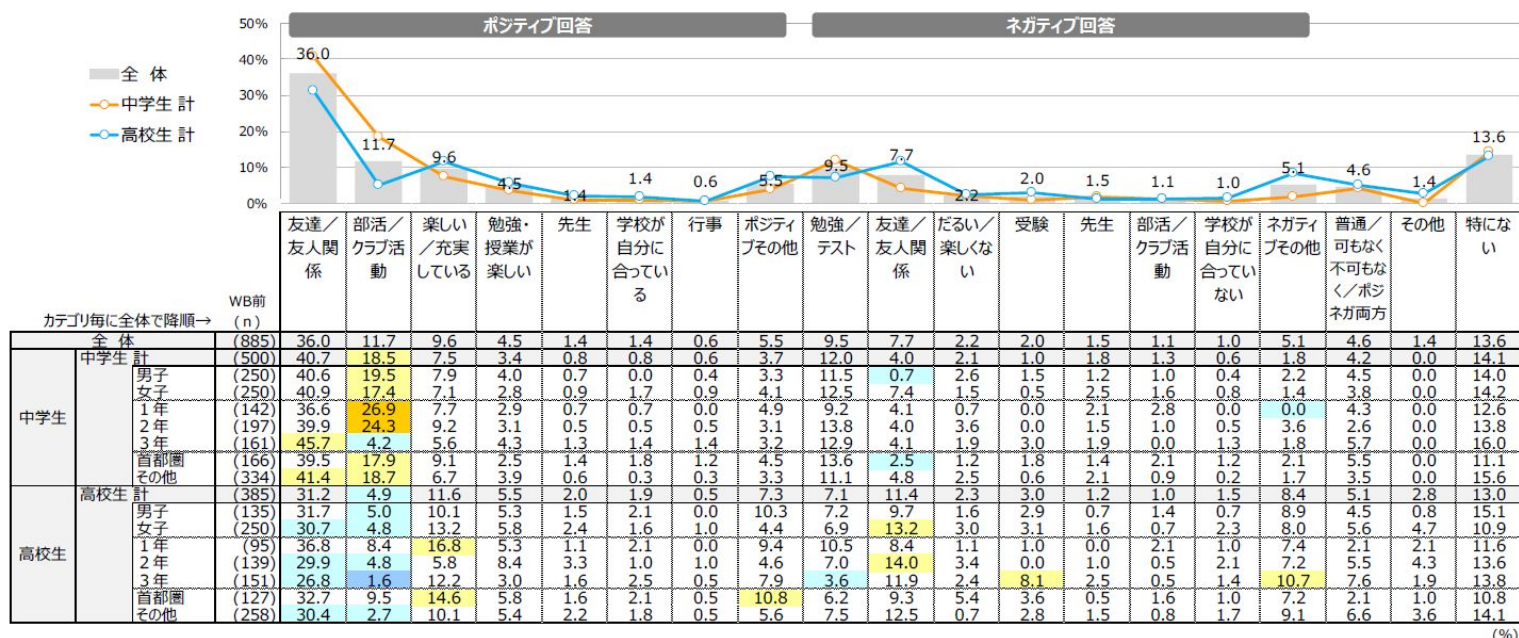
# NEWS LETTER(調査レポート)

## ■学校生活の満足度理由

・学校生活の満足度の理由は、「友達／友人関係」(36.0%)、「部活／クラブ活動」(11.7%)が上位となりました。ネガティブな理由としては「勉強／テスト」(9.5%)、次いでポジティブ理由と同様「友達／友人関係」(7.7%)となりました。

・中学生は高校生に比べて、「友達／友人関係」のポジティブ回答、「部活／クラブ活動」が多く挙げられました。高校生はネガティブ回答の「友達／友人関係」が多かったです。

Q2.学校生活について、上記(まったく楽しくない～とても楽しい)と答えた理由を教えてください。



(%)

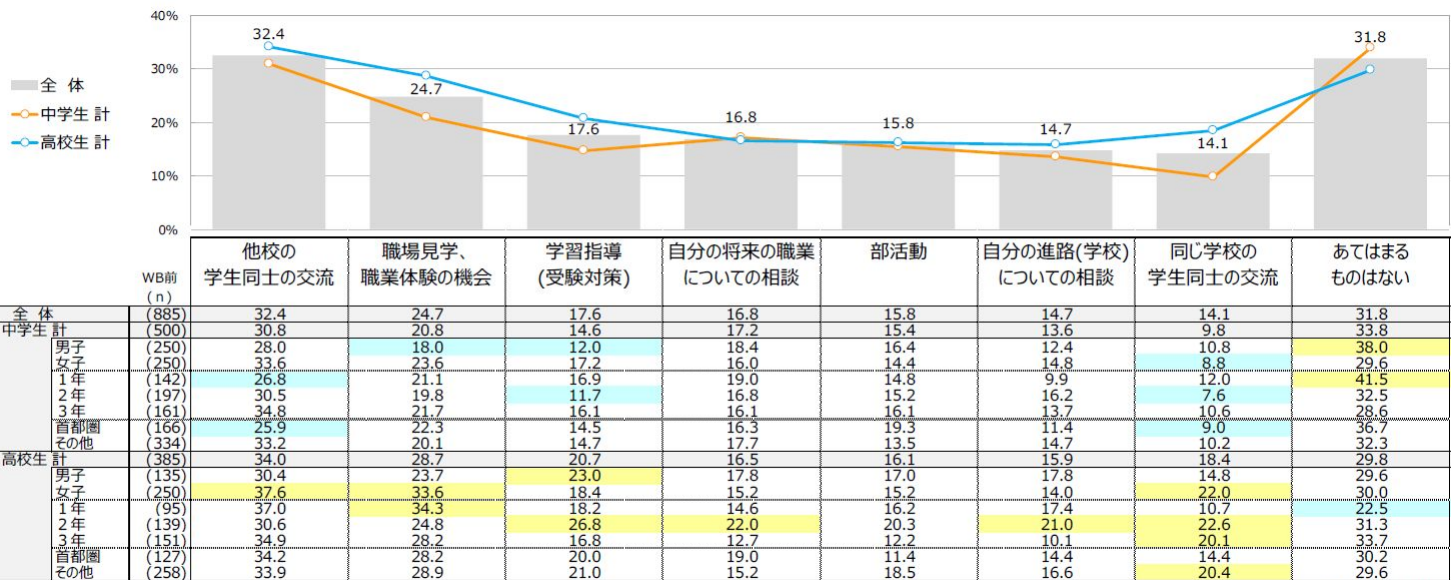
# NEWS LETTER(調査レポート)

## ■十分に行われていないと思う学校活動

・十分に行われていないと思うことは、「他校の学生同士の交流」(32.4%)、「職場見学、職業体験の機会」(24.7%)が上位でした。

・高校生は中学生に比べて、「職場見学、職業体験の機会」「学習指導」「同じ学校の学生同士の交流」といったことが、十分に行われていないと感じている傾向が強い結果となりました。

Q3.以下の項目で、あなたが学校生活の中で十分に行われていないと思うものはありますか。また、もっと充実させてほしいと思うものはありますか。



※全体で降順ソート (%)

# NEWS LETTER(調査レポート)

## ■もっと充実させてほしいと思う学校活動

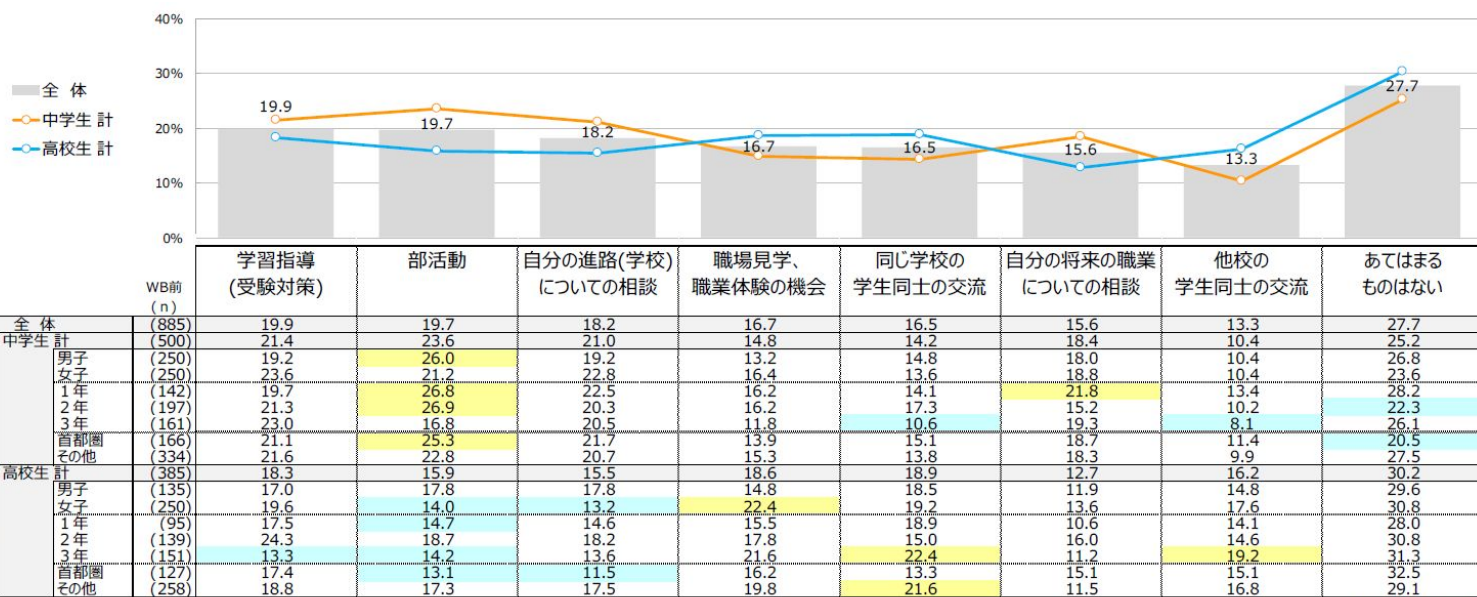
・もっと充実させてほしいと思うことは、「学習指導」「部活動」「自分の進路についての相談」が約2割で上位でした。

・中学生では「部活動」がトップ。特に、男子、1・2年生、首都圏において「部活動」に対する要望が高めでした。

・高校生では「同じ学校の学生同士の交流」「職場見学、職業体験の機会」がトップ2

・特に「同じ学校の学生同士の交流」は、3年生およびその他(首都圏以外)、「職場見学、職業体験の機会」は女子で高めとなりました。

Q3.以下の項目で、あなたが学校生活の中で十分に行われていないと思うものはありますか。また、もっと充実させてほしいと思うものはありますか。



※全体で降順ソート (%)

# NEWS LETTER(調査レポート)

## ■ 将来に対するイメージ

・将来に対するイメージは、「やりたいことから選ぶ」「明るい」が4割台で上位であり、それぞれ対の項目を20pt以上上回っています。

・一方、「曖昧⇔ 明確」については「曖昧」が「明確」を上回っており、「不安⇔ 楽しみ」については両者が拮抗しています。将来像が明確に見えない中で、将来への不安や楽しみが交錯したり葛藤が起きているのではないかと、という見方もできます。

**Q4.あなたは自分の将来について、どのようなイメージを持っていますか。  
あなたのお気持ちに最もあてはまるものをそれぞれお答えください。**

A	イメージ					B
	Aに近い	どちらかという Aに近い	どちらとも 言えない	どちらかという Bに近い	Bに近い	
暗い	5.9	13.5	39.0	31.1	10.4	明るい
不安	9.9	24.8	29.7	26.0	9.6	楽しみ
曖昧である	10.4	24.0	38.2	18.4	9.0	明確である
出来ることは限られている	5.4	17.4	43.8	24.4	9.0	無限の可能性がある
出来ることから選ぶ	4.5	17.4	32.0	33.1	13.0	やりたいことから選ぶ

※WB前(n) = 885

(%)



# NEWS LETTER(調査レポート)

## ■将来に対するイメージ(属性別)

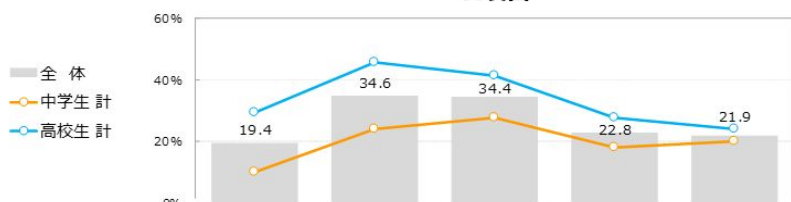
・「暗い」「不安」「曖昧」といったネガティブイメージは、高校生で多くみられました。特に高校女子で高い傾向になりました。

・やりたい仕事あり層、将来のための取り組みあり層では、全体的にB項目が高い結果になりました。

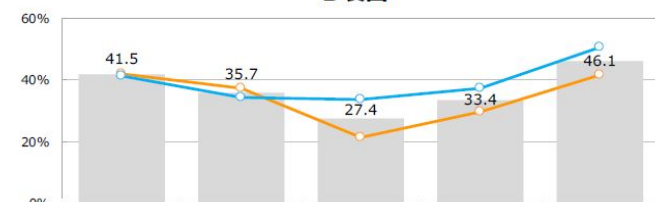
・将来のビジョンを具体的に見据えることで、ポジティブな思考が醸成される可能性が考えられると言えます。

**Q4.あなたは自分の将来について、どのようなイメージを持っていますか。  
あなたのお気持ちに最もあてはまるものをそれぞれお答えください。**

A項目



B項目



		WB前 (n)	暗い	不安	曖昧である	出来ることは限られている	出来ることから選ぶ
全体	全体	(885)	19.4	34.6	34.4	22.8	21.9
中学生	中学生計	(500)	9.8	23.8	27.6	18.0	19.8
	男子	(250)	10.0	19.2	24.4	14.4	18.8
	女子	(250)	9.6	28.4	30.8	21.6	20.8
	1年	(142)	3.5	16.9	22.5	14.1	16.9
	2年	(197)	12.7	26.4	27.4	20.8	17.3
	3年	(161)	11.8	26.7	32.3	18.0	25.5
	首都圏	(166)	7.2	27.1	26.5	16.9	21.1
	その他	(334)	11.1	22.2	28.1	18.6	19.2
高校生	高校生計	(385)	29.1	45.5	41.2	27.5	23.9
	男子	(135)	28.1	37.8	39.3	26.7	21.5
	女子	(250)	30.0	53.2	43.2	28.4	26.4
	1年	(95)	27.9	44.4	52.5	23.9	23.2
	2年	(139)	26.1	47.8	38.4	30.5	26.0
	3年	(151)	32.6	44.1	35.8	27.4	22.5
	首都圏	(127)	31.7	44.0	37.7	27.1	27.7
	その他	(258)	27.8	46.2	43.0	27.8	22.1
具体的にやりたい仕事あり	(435)	16.0	32.2	25.5	21.2	16.8	
将来のための取り組みあり	(431)	15.2	29.4	23.0	16.4	16.1	

(%)

		WB前 (n)	明るい	楽しみ	明確である	無限の可能性があり	やりたいことから選ぶ
全体	全体	(885)	41.5	35.7	27.4	33.4	46.1
中学生	中学生計	(500)	41.8	37.2	21.4	29.6	41.6
	男子	(250)	42.0	38.4	21.6	30.8	38.4
	女子	(250)	41.6	36.0	21.2	28.4	44.8
	1年	(142)	43.7	43.0	23.9	38.0	45.1
	2年	(197)	42.1	32.5	21.3	25.9	42.1
	3年	(161)	39.8	37.9	19.3	26.7	37.9
	首都圏	(166)	40.4	36.1	23.5	30.1	42.2
	その他	(334)	42.5	37.7	20.4	29.3	41.3
高校生	高校生計	(385)	41.3	34.1	33.4	37.2	50.6
	男子	(135)	43.0	37.0	34.1	39.3	54.8
	女子	(250)	39.6	31.2	32.8	35.2	46.4
	1年	(95)	41.8	35.4	22.1	41.5	57.0
	2年	(139)	39.2	27.7	35.4	33.2	43.2
	3年	(151)	42.9	39.2	39.7	37.8	52.9
	首都圏	(127)	40.3	39.4	37.7	38.2	44.7
	その他	(258)	41.8	31.4	31.3	36.7	53.5
具体的にやりたい仕事あり	(435)	53.6	45.9	44.2	43.0	59.2	
将来のための取り組みあり	(431)	48.9	42.9	38.3	41.5	53.6	

(%)

# NEWS LETTER(調査レポート)

## ■将来について考える頻度

・将来について、「よく考える」は26.7%、「たまに考える」は55.1%であり、合わせると8割以上の方が将来について考えていると回答しました。

・高校生では「考える計」は88.7%と高く、特に高校首都圏では9割以上が将来について考えていると回答しました。

### Q5.自分の将来について考えることはどれくらいありますか。

		WB前 (n)	全く考えない		ほとんど考えない		たまに考える		よく考える	
全体		(885)	2.9	15.3	55.1		63.8		26.7	
中学生	中学生計	(500)	3.8	21.2	63.8		11.2			
	男子	(250)	4.8	24.0	62.0		9.2			
	女子	(250)	2.8	18.4	65.6		13.2			
	1年	(142)	5.6	22.5	58.5		13.4			
	2年	(197)	4.6	22.8	61.9		10.7			
	3年	(161)	1.2	18.0	70.8		9.9			
	首都圏	(166)	1.8	19.9	64.5		13.9			
	その他	(334)	4.8	21.9	63.5		9.9			
高校生	高校生計	(385)	1.9	9.4	46.4		42.3			
	男子	(135)	2.2	9.6	49.6		38.5			
	女子	(250)	1.6	9.2	43.2		46.0			
	1年	(95)	2.8	7.7	56.8		32.7			
	2年	(139)	1.1	8.8	44.1		46.0			
	3年	(151)	2.0	11.2	41.1		45.6			
	首都圏	(127)	6.4		48.8		44.8			
	その他	(258)	2.9	10.9	45.2		41.0			

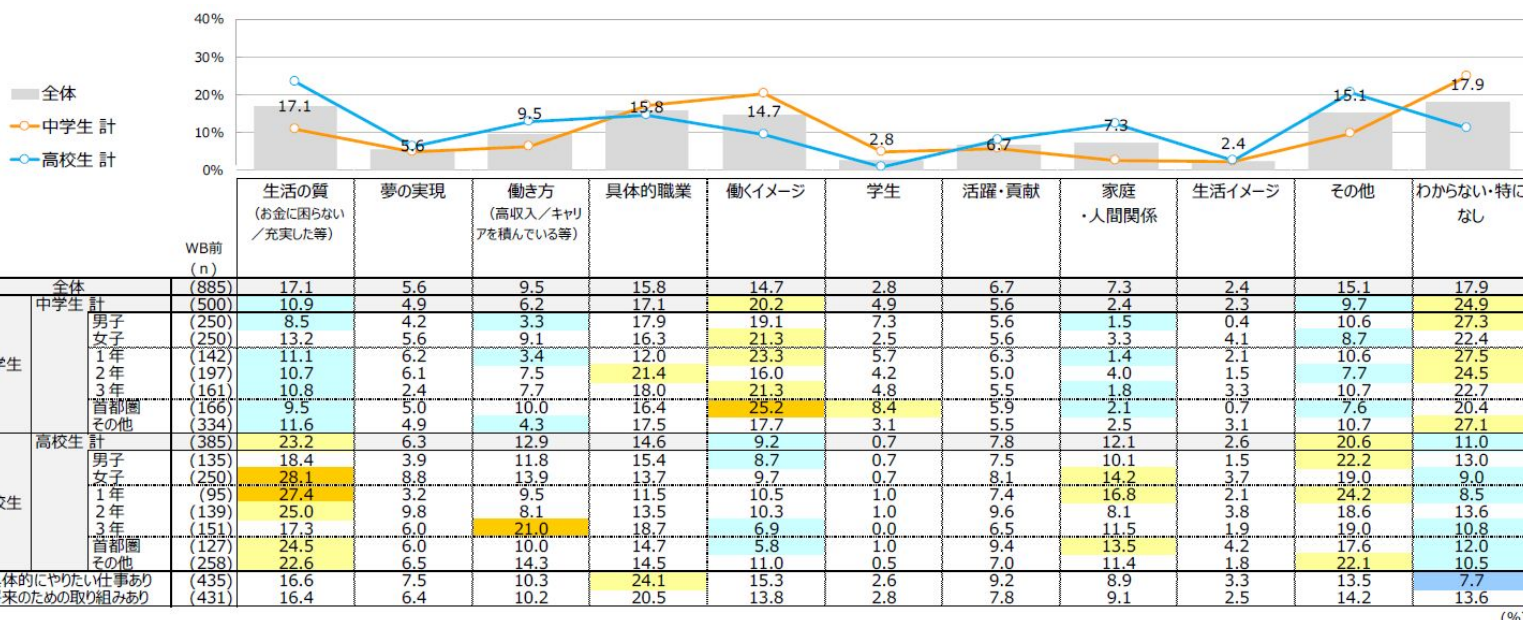
※考える計（よく考える＋たまに考える）（%）

# NEWS LETTER(調査レポート)

## ■10年後の自分

- ・10年後の自分の姿について、会社員や公務員を含め「具体的な職業」を挙げた人は15.8%、「働くイメージ」を挙げた人は14.7%、自立している、キャリアを積んでいるなど「働き方」を挙げた人は9.5%となりました。
- ・職業とは限定していないものの「活躍・貢献」は6.7%、「夢の実現」は5.6%となりました。
- ・中学生は「働くイメージ」また「わからない・特になし」を挙げる人が高校生に比べ多く高校生は職業関連の中でも「働き方」を挙げる人が多い結果となりました。
- ・職業のイメージではなく「生活の質」「家庭・人間関係」を挙げる人が多かったです。

### Q6.10年後のあなたはどんな風になりたいですか。



(%)

# NEWS LETTER(調査レポート)

## ■将来の具体像の有無

- ・「やりたい仕事がある」(15.8%)、「興味のある仕事がある」(34.6%)であり、合わせると中学生/高校生ともに、女子は男子に比べて将来の仕5割の人が具体的に将来の仕事を考えていました。
- ・「やりたい+興味あり計」は、高校生で6割強と高い結果となりました。一方、中学生は4割程度でした。
- ・中学生/高校生ともに、女子は男子に比べて将来の仕事の具体的なイメージしている傾向が強めでした。
- ・学年が高い層ほど、具体的な仕事をイメージしており、特に高校3年生では7割強に達しています。

### Q7.将来の仕事について、具体的にやりたい仕事、職業はありますか。

		WB前 (n)	絶対に やりたい仕事がある	絶対ではないが 興味のある仕事がある	なんとなくはあるが、具体的な仕事・ 職業までイメージできていない	やりたい 仕事・職業はない	そのようなことを 考えたことがない	
全体		(885)	15.8	34.6		29.9	14.8	4.9
中学生	中学生計	(500)	7.8	31.2	36.0		18.6	6.4
	男子	(250)	9.6	25.2	35.6		21.2	8.4
	女子	(250)	6.0	37.2	36.4		16.0	4.4
	1年	(142)	7.0	28.2	33.1		22.5	9.2
	2年	(197)	8.1	32.0	35.5		17.8	6.6
	3年	(161)	8.1	32.9	39.1		16.1	3.7
	首都圏	(166)	7.8	30.7	36.7		18.7	6.0
	その他	(334)	7.8	31.4	35.6		18.6	6.6
高校生	高校生計	(385)	23.9	37.9		23.8	11.1	3.3
	男子	(135)	18.5	41.5		25.2	12.6	2.2
	女子	(250)	29.2	34.4		22.4	9.6	4.4
	1年	(95)	14.7	34.9		34.9	14.0	1.5
	2年	(139)	24.7	35.2		23.7	14.3	2.2
	3年	(151)	29.7	42.6		15.9	6.1	5.7
	首都圏	(127)	20.8	37.8		30.4	9.7	1.2
	その他	(258)	25.4	38.0		20.5	11.8	4.4

※やりたい+興味あり計 (絶対にやりたい仕事がある+絶対ではないが興味のある仕事がある) (%)

# NEWS LETTER(調査レポート)

## ■将来に向けた取り組みの有無・頻度

- ・将来に向けて何らかの取り組みをしている人は約5割となりました。
- ・高校生では、取り組み率は56.7%。特に女子で60.0%と高く、中学生では属性間での大きな差はみられませんでした。
- ・学年で見ると、高校2年生の段階で取り組み率が大きく上昇しています。

### Q8.自分の将来のために取り組んでいることはありますか？

		WB前 (n)	ない。 あまり考えていない	ない。 何かやらなきゃと思っている	ある。 少し不十分かもしれない	ある。 それなりに取り組んでいる	ある！ 十分にに取り組んでいる
全体		(885)	13.2	37.6	27.8	16.6	4.8
中学生	中学生計	(500)	17.8	40.4	25.8	13.6	2.4
	男子	(250)	21.2	37.6	24.8	13.2	3.2
	女子	(250)	14.4	43.2	26.8	14.0	1.6
	1年	(142)	18.3	39.4	26.8	11.3	4.2
	2年	(197)	20.3	39.1	23.4	16.2	1.0
	3年	(161)	14.3	42.9	28.0	12.4	2.5
	首都圏	(166)	16.3	42.2	26.5	14.5	0.6
	その他	(334)	18.6	39.5	25.4	13.2	3.3
高校生	高校生計	(385)	8.6	34.7	29.8	19.7	7.2
	男子	(135)	9.6	37.0	29.6	18.5	5.2
	女子	(250)	7.6	32.4	30.0	20.8	9.2
	1年	(95)	14.6	44.2	26.5	13.2	1.5
	2年	(139)	4.5	35.0	32.7	24.0	3.8
	3年	(151)	8.1	27.7	29.5	20.3	14.4
	首都圏	(127)	7.9	40.6	28.8	16.8	5.8
	その他	(258)	9.0	31.7	30.3	21.1	7.9

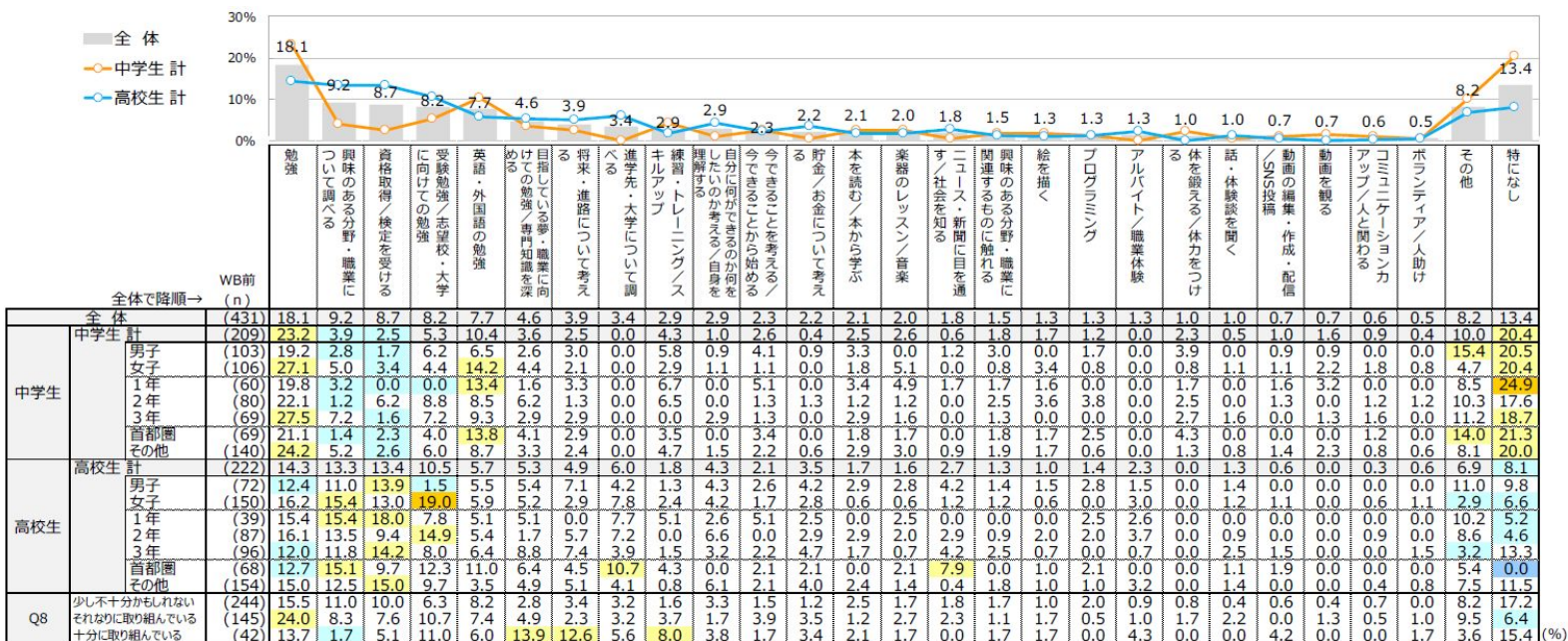
※取組あり計（十分にに取り組んでいる+それなりに取り組んでいる+少し不十分かもしれない）（%）

# NEWS LETTER(調査レポート)

## ■将来に向けて、具体的に取り組んでいること

- ・将来に向けての具体的な取り組みは、「勉強」が18.1%と最も多く挙がりました。
- ・「将来・進路について考える」「自分に何ができるのかを考える」といった内省・自己分析を挙げた人は3~4%程度に留まりました。
- ・中学生では「勉強」「英語・外国語の勉強」「練習・トレーニング／スキルアップ」といった学生の本分の項目が高校生より多く挙がりました。
- ・また、具体的には「特になし」の人も多い。高校生では「興味のある分野・職業について調べる」といったリサーチ、「資格取得・検定を受ける」といった目標を定めた勉強がより多く挙がりました。

Q9.どのようなことを考えたり、取り組んだりしていますか？

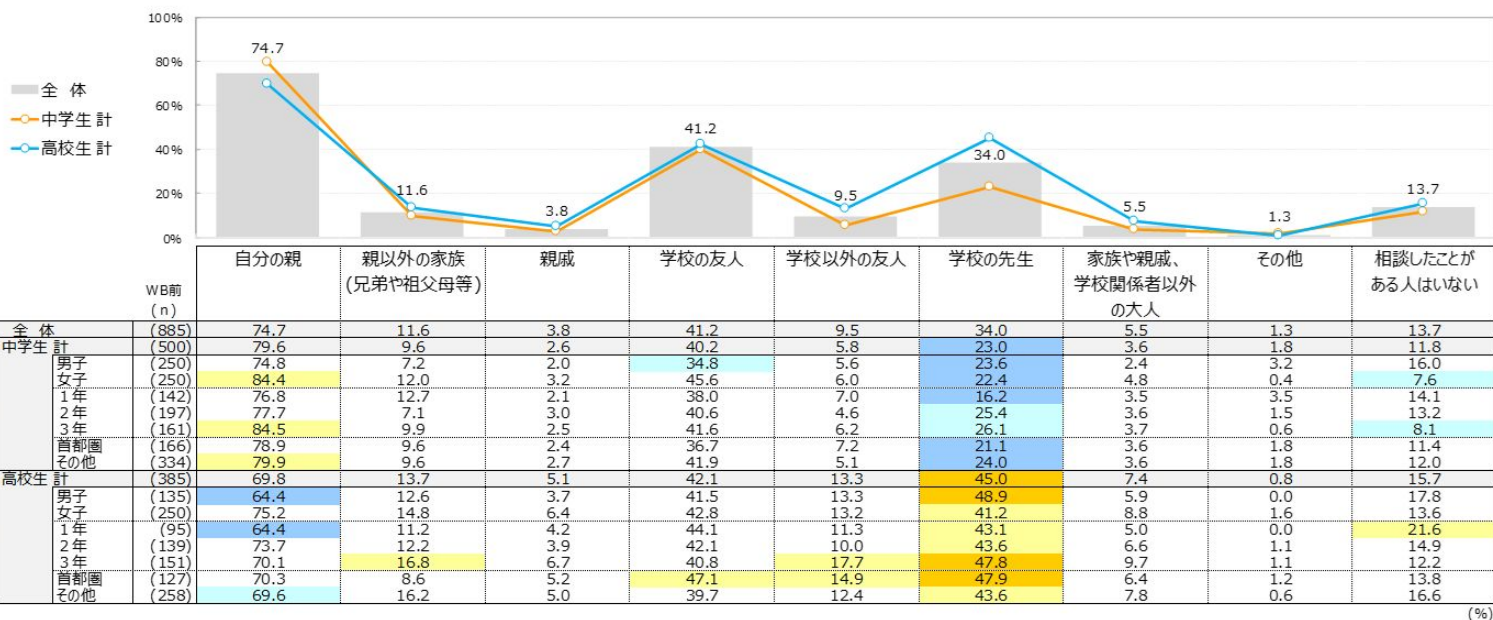


# NEWS LETTER(調査レポート)

## ■進路の相談相手

- ・現在の相談相手は、「自分の親」が7割半ばで最も高い。次いで「学校の友人」が4割強、「学校の先生」が3割半ばとなりました。
- ・すべての属性で「自分の親」がトップ。
- ・中学生では「学校の友人」が2位にランキングしており「学校の先生」は3位。
- ・一方、高校生では「学校の先生」が2位。特に、男子、3年生、首都圏で「学校の先生」に相談する割合が高い結果となりました。

Q10.自分の進路について、相談したり、話したことがある人は誰ですか。  
 ※学校の進路だけではなく、将来の職業や夢についても含めてお答えください。



(%)

# NEWS LETTER(調査レポート)

## ■進路を相談したい相手

・相談したい相手においても、「自分の親」が7割強で最も高かったです。次いで「学校の友人」が4割強、「学校の先生」が3割半ばとなりました。

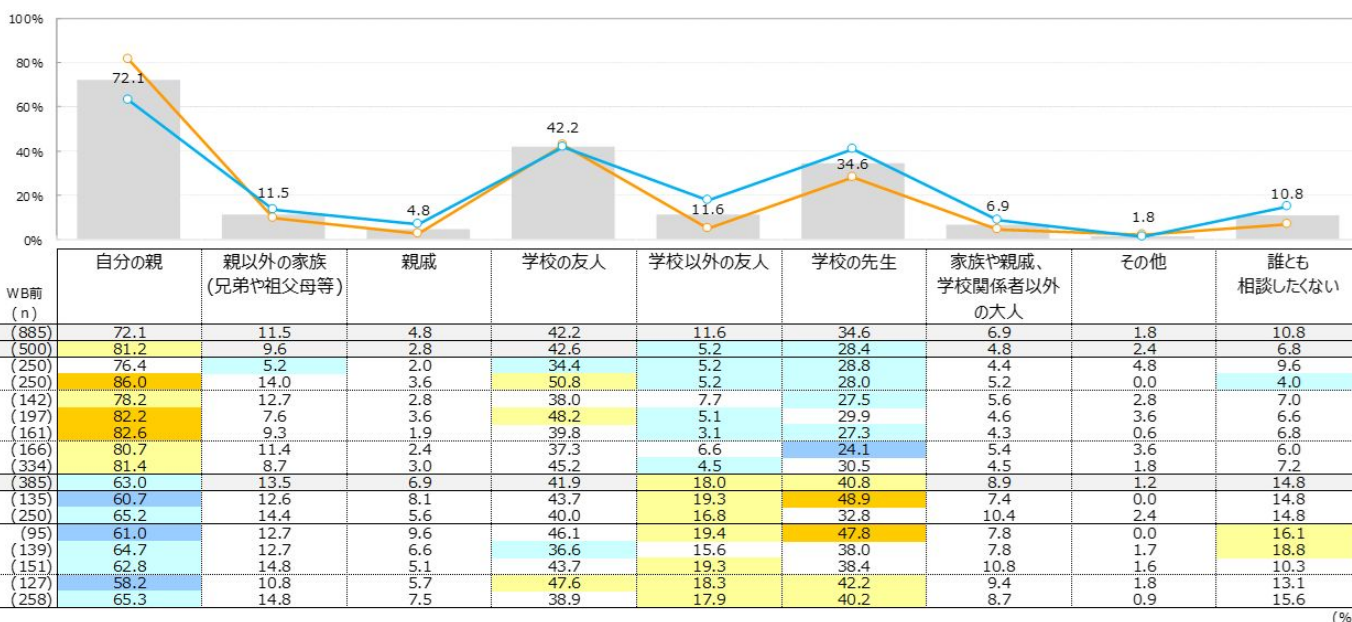
・「自分の親」は特に中学生で高く、高校生でも「自分の親」はトップでありながら、中学生よりも割合は低い結果となりました。

高校生では、「学校以外の友人」「学校の先生」の割合が中学生よりも高いのが特徴的です。「家族や親戚、学校関係者以外の大人」については、高校女子および高校3年生で1割を超えており、他層よりもやや高めの傾向となりました。

### Q11.自分の進路について、誰と相談したり、話したいと思いますか。

※学校の進路だけではなく、将来の職業や夢についても含めてお答えください。

※今現在、そのような関係性の人がいなくても構いません。こういう人と話せれば良いと思う人を教えてください。





# NEWS LETTER(調査レポート)

## ■学校の先生の評価

・先生の評価については、「ネガティブ」(21.6%)が「ポジティブ」(18.2%)を上回る結果となりました。「ニュートラル」は60.3%です。

・中学生は高校生に比べて評価が低く、ポジティブが1割を下回っている。特に、中学1年生ではネガティブが3割を占めています。

・高校生は中学生に比べて評価が高めであり、高校2年、3年ではポジティブがネガティブを上回っています。特に、高校3年生ではポジティブが約4割と高くなりました。

Q12.あなたが通っている学校の先生(先生たち)は、あなたの進路や将来希望する職業や夢について、どのくらい知っている・分かっていると思いますか。

		WB前 (n)	1 まったく知らない・ わかっていない	2	3	4	5	6	7	8	9	10 とてもよく知って いる・わかっている
全体		(885)	9.0	5.6	7.0	7.7	21.9	15.2	15.5	7.9	3.1	7.2
中学生	中学生計	(500)	9.6	7.2	9.0	7.4	28.0	15.0	14.4	5.2	3.0	
	男子	(250)	9.2	6.8	10.0	6.4	25.6	13.6	16.8	7.6	3.2	
	女子	(250)	10.0	7.6	8.0	8.4	30.4	16.4	12.0	2.8	2.8	
	1年	(142)	14.8	9.9	7.0	8.5	25.4	13.4	13.4	2.8	4.9	
	2年	(197)	11.2	7.1	10.7	6.6	31.0	13.2	11.7	4.6	2.5	
	3年	(161)	3.1	5.0	8.7	7.5	26.7	18.6	18.6	8.1	3.1	
	首都圏 その他	(166) (334)	10.8 9.0	9.0 6.3	7.2 9.9	9.6 6.3	27.1 28.4	13.3 15.9	14.5 14.4	5.4 5.1	3.6	
高校生	高校生計	(385)	8.4	3.9	5.0	7.9	15.8	15.3	16.7	10.6	5.1	11.3
	男子	(135)	9.6	2.2	5.2	7.4	14.8	16.3	18.5	10.4	3.7	11.9
	女子	(250)	7.2	5.6	4.8	8.4	16.8	14.4	14.8	10.8	6.4	10.8
	1年	(95)	15.5	5.0	4.9	8.4	16.2	13.2	18.7	11.9	5.5	
	2年	(139)	8.7	3.4	6.5	7.2	18.2	20.5	14.3	7.2	4.5	9.5
	3年	(151)	3.0	3.5	3.6	8.2	13.3	12.1	17.4	12.8	8.7	17.3
	首都圏 その他	(127) (258)	6.9 9.2	4.1 3.8	6.8 4.1	6.9 8.4	15.4 16.0	20.0 13.0	16.7 16.6	9.2 11.3	3.4 5.9	10.5 11.7

※選択肢 (1:まったく知らない・わかっていない～10:とてもよく知っている・わかっている) ※ネガティブ=1～3 ニュートラル=4～7 ポジティブ=8～10

※2%未満のスコアは非表示 (%)

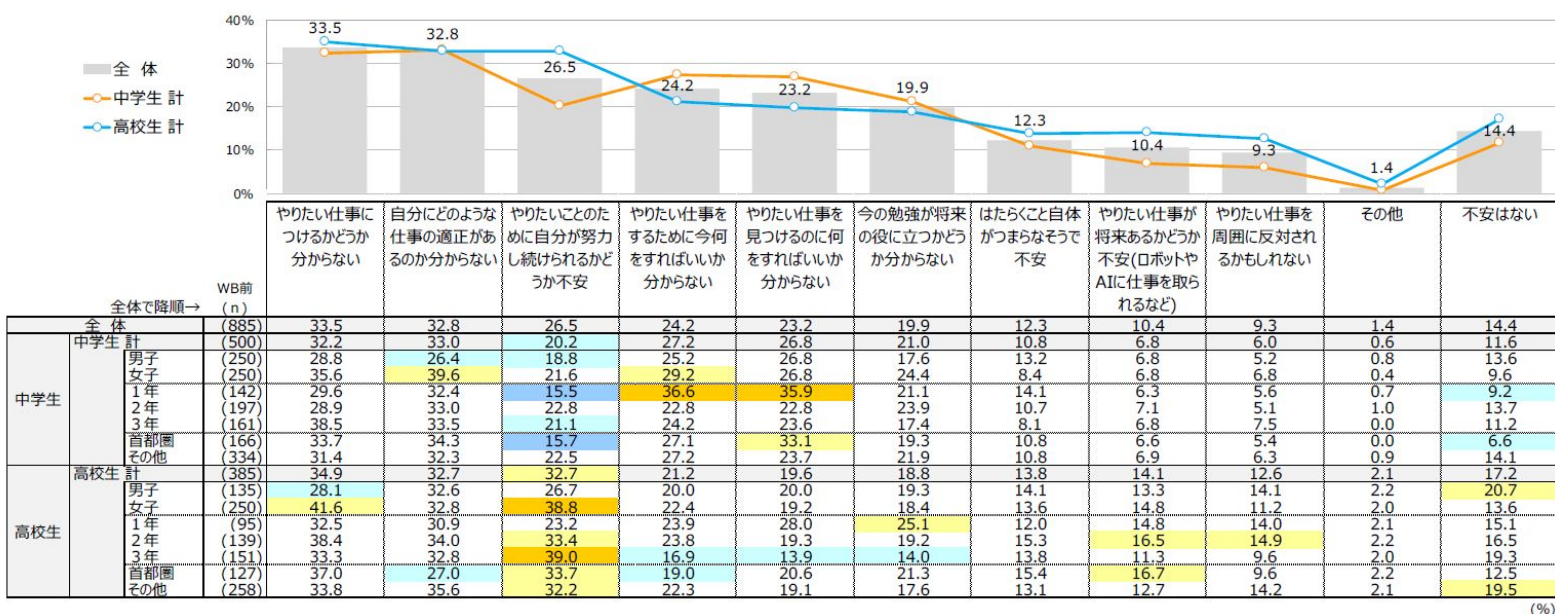
# NEWS LETTER(調査レポート)

## ■将来への不安

・将来への不安は、「やりたい仕事につけるかどうか分からない」「自分にどのような仕事の適正があるのか分からない」が3割台で上位となりました。

・中学生では「やりたい仕事を(するために/見つけるのに)何をすればいいか分からない」といった仕事探しそのものに対する不安が強いに対し、高校生では「やりたいことのために自分が努力し続けられるかどうか」といった目標実現のための不安が生じている結果となりました。

Q13.自分の進路、将来の仕事について、どのようなことを不安に思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。



# NEWS LETTER(調査レポート)

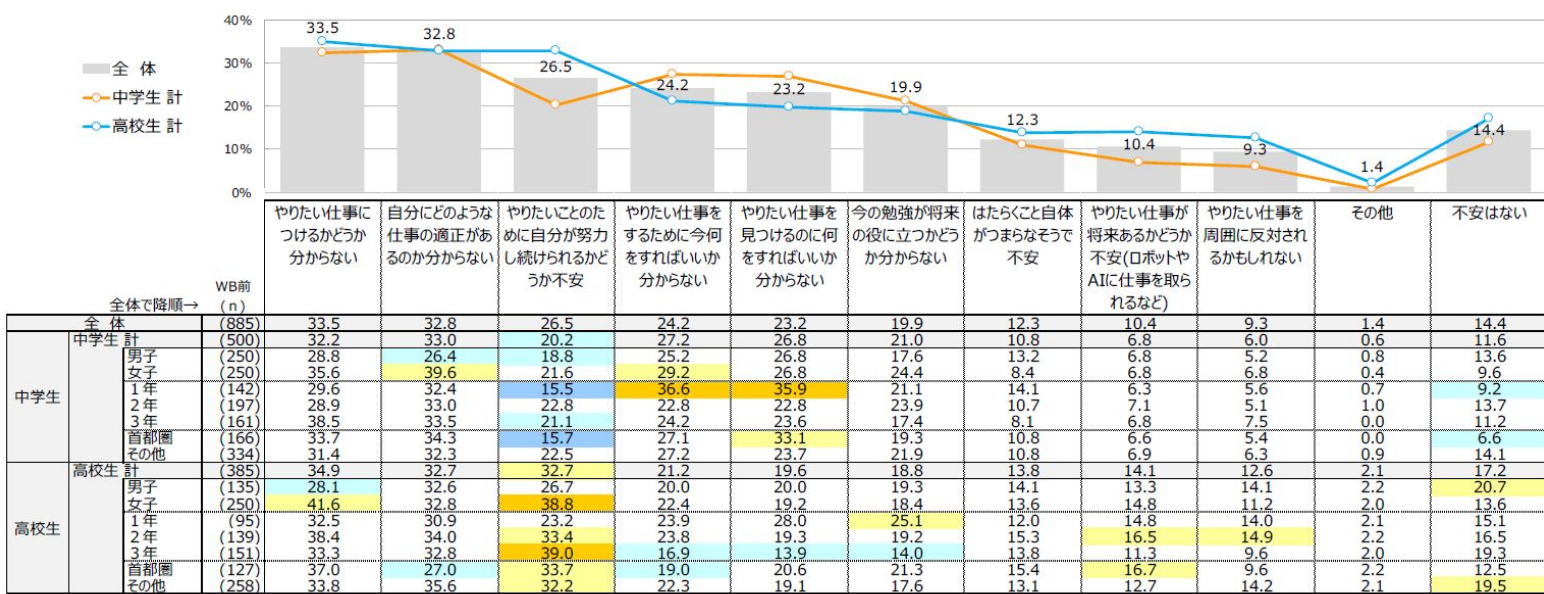
## ■実施した仕事への活動・行動

・実施した活動は、「自分が好きなこと、得意なことについて考えてみる」が4割強で最も高くなりました。次いで「自分の長所や短所について考えてみる」「自分が嫌いなこと、不得意なことについて考えてみる」「これからの自分の生き方について想像してみる」が3割台で続きます。

・高校生は中学生に比べて、活動内容が総じて高くなりました。

・特に、「自分という人間について考えてみる」「興味がある仕事に就くための方法を調べる」は、中学生を30pt以上上回っています。

### Q14.あなたはここ数か月、以下のような活動についてどの程度行いましたか。



# NEWS LETTER(調査レポート)

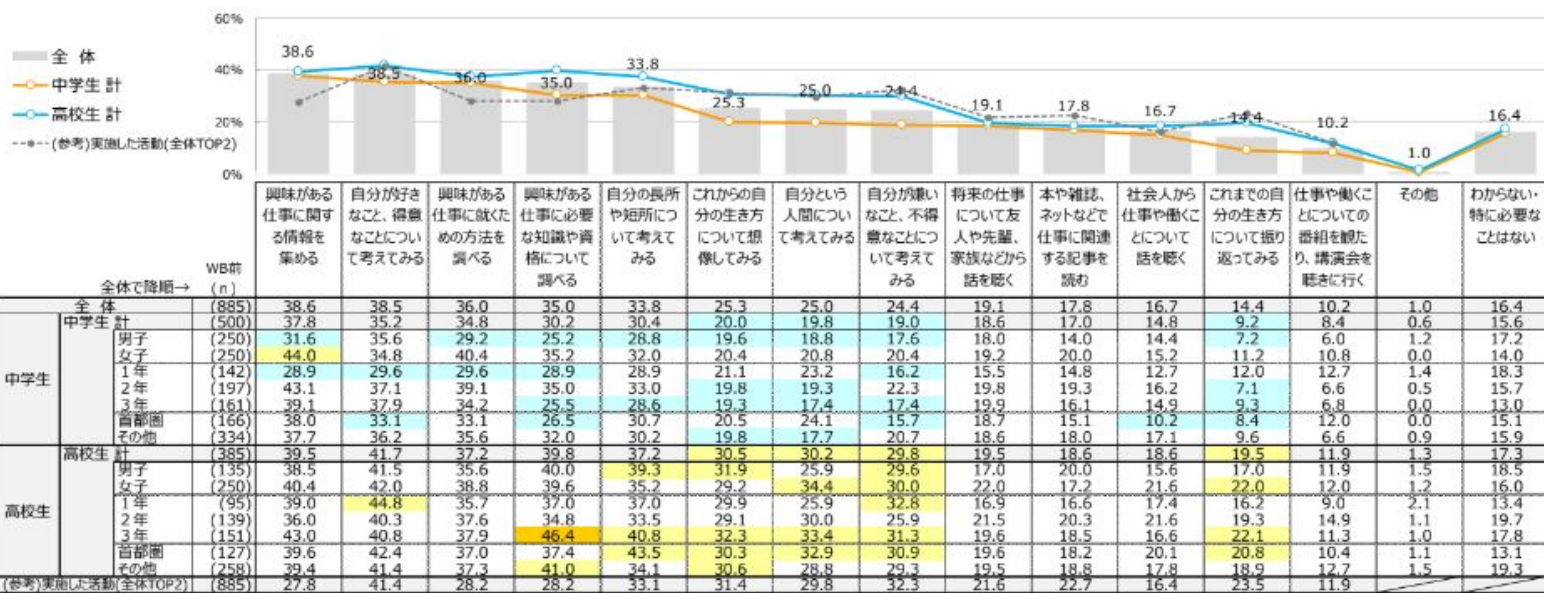
## ■必要だと思う仕事への活動・行動

・必要だと思う活動は、「興味がある仕事に関する情報を集める」「自分が好きなこと、得意なことについて考えてみる」が上位でした。

・実施した活動(前ページ)と比較すると、「興味がある仕事に関する情報を集める」「興味がある仕事に就くための方法を調べる」「興味がある仕事に必要な知識や資格について調べる」といった項目で乖離がみられます(必要だと思う活動が相対的に高い)。

・特に中学生において乖離が顕著であることから、仕事に関する“情報”“方法”“知識や資格”の提供は中学生のニーズに合致していると考えられます。

### Q15.将来の仕事やキャリアを考える上で、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。



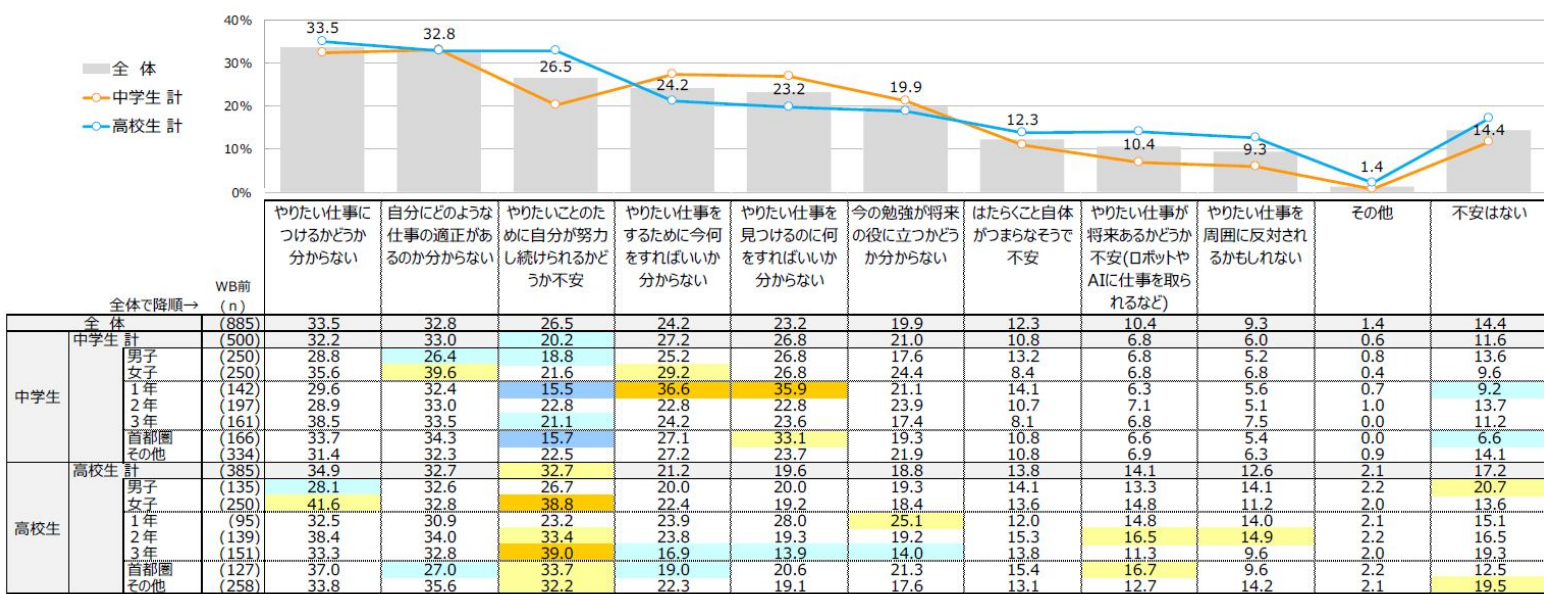
# NEWS LETTER(調査レポート)

## ■将来に対する自信・肯定感

・「自分の能力や才能、学んだことは社会に生かされるべきだと思う」「自分は将来的に「仕事を通じて自分の価値を発揮することに挑戦したい」と思う」「学生時代に学んだこと、一生懸命行ったことは将来の仕事でも役に立つと思う」が4割台で上位となりました。

・やりたい仕事あり層、将来のための取り組みあり層では、総じてスコアが高くなっていることから、将来像を具体化することで、より自信や肯定感を持ったポジティブな思考が醸成される可能性が考えられます。

Q16.あなたは以下の事柄について、どのくらいそう思いますか。



# NEWS LETTER(調査レポート)

## ■積極性(対人関係など)

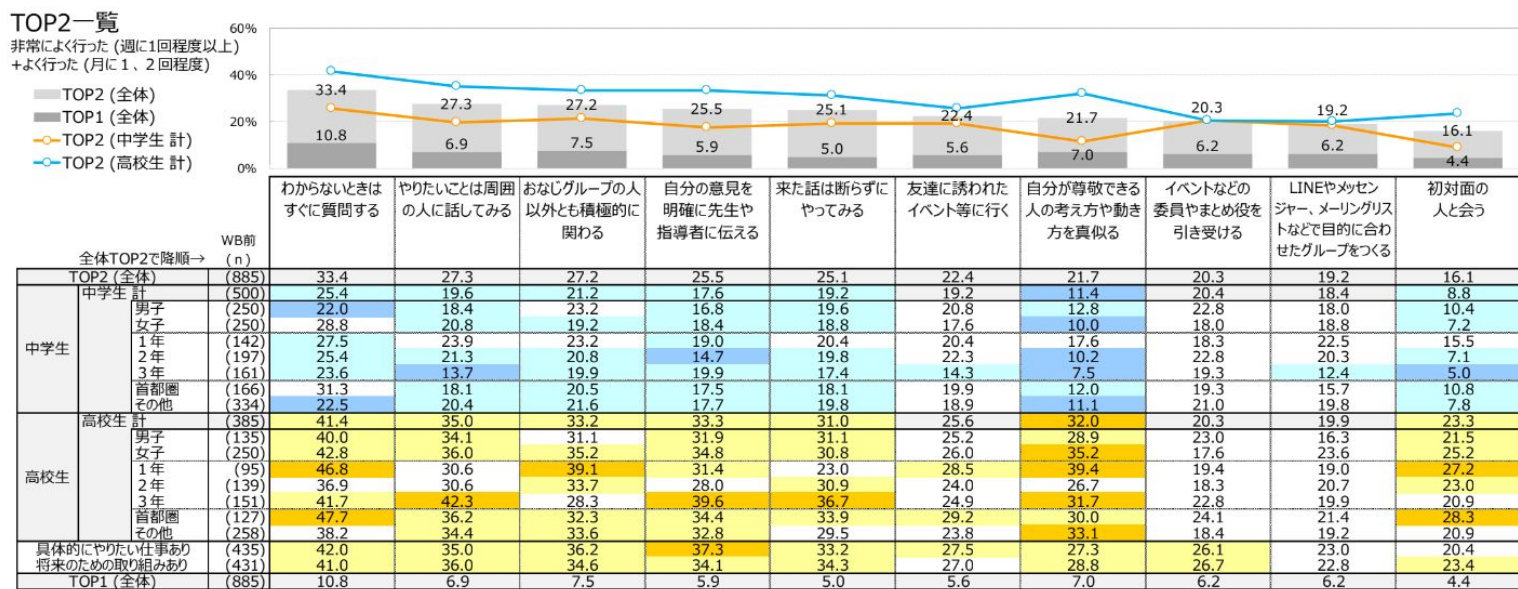
・「わからないときはすぐに質問する」「やりたいことは周囲の人に話してみる」「おなじグループの人以外とも積極的に関わる」が上位となりました。

・高校生では「自分が尊敬できる人の考え方や動き方を真似る」が高く、中学生を20pt以上上回っています。

・第一線で活躍する社会人との交流(対話や実践)は、高校生には刺さりやすい可能性があることが分かりました。

・やりたい仕事あり層、将来のための取り組みあり層では、全体的に積極性意識が高い傾向がみられます。

### Q17.あなたは以下のようなことをどの程度行いますか。



(%)

# NEWS LETTER(調査レポート)

## ■これまでの人生の満足度

- ・これまでの人生についての満足度(ポジティブ)は27.7%であり、ネガティブを17pt上回りました。
- ・いずれの属性も、ポジティブがネガティブを上回っています。
- ・加重平均でみると、満足度トップ3は、やりたい仕事あり層、将来のための取り組みあり層、高校男子。一方、ワースト3は、高校2年生、高校女子、中学首都圏でした。
- ・また、中学生よりも高校生の方がポジ・ネガが増え、標準偏差が大きい傾向にありました。

### Q18.自分のこれまでの人生について、どの程度満足感を感じますか。

		WB前 (n)	1 まったく 満足感はない	2	3	4	5	6	7	8	9	10 とても 満足感がある
全体		(885)	3.5	6.2	5.7	18.2	17.1	20.1	15.7	4.6	7.4	
中学生	中学生計	(500)	4.0	4.4	22.8	20.2	20.4	16.6	4.0	4.0		
	男子	(250)	2.0	2.0	4.4	5.6	21.2	18.0	21.6	17.2	4.4	3.6
	女子	(250)	3.6	3.2	24.4	22.4	19.2	16.0	3.6	4.4		
	1年	(142)	2.8	2.8	4.9	28.9	19.0	14.8	16.9	2.8	6.3	
	2年	(197)	2.0	5.6	4.6	22.8	21.3	18.8	18.3	4.1	2.0	
	3年	(161)	2.5	2.5	3.1	3.7	17.4	19.9	27.3	14.3	5.0	4.3
	首都圏	(166)	2.4	6.6	4.8	21.7	20.5	18.7	15.7	3.0	4.8	
	その他	(334)	2.7	4.2	23.4	20.1	21.3	17.1	4.5	3.6		
高校生	高校生計	(385)	5.2	8.4	7.0	13.6	14.0	19.8	14.7	5.1	10.9	
	男子	(135)	5.2	10.4	5.2	8.9	14.1	20.0	17.0	6.7	12.6	
	女子	(250)	5.2	2.4	6.4	8.8	18.4	14.0	19.6	12.4	3.6	9.2
	1年	(95)	4.9	5.6	8.5	12.9	11.1	20.9	22.2	5.6	7.5	
	2年	(139)	6.6	9.3	7.2	15.4	17.2	17.1	10.6	4.9	10.5	
	3年	(151)	4.1	9.6	5.7	12.5	13.2	21.6	13.1	5.0	13.6	
	首都圏	(127)	3.5	5.7	9.8	12.1	15.5	21.9	15.5	4.0	10.8	
	その他	(258)	6.0	9.7	5.6	14.4	13.3	18.8	14.3	5.7	10.9	
具体的にやりたい仕事あり	(435)	6.7	4.5	13.7	15.4	22.1	17.2	6.2	11.3			
将来のための取り組みあり	(431)	4.6	4.6	16.7	18.2	21.4	16.3	6.1	9.3			

※選択肢 (1:まったく満足感はない ~ 10:とても満足感がある) ※ネガティブ=1~3 ニュートラル=4~7 ポジティブ=8~10

※2%未満のスコアは非表示 (%)

# NEWS LETTER(調査レポート)

## ■1年後の自分の幸福度

・1年後の自分の幸福度(ポジティブ)は35.8%であり、ネガティブを27pt上回りました。「ニュートラル」は55.1%です。

・やりたい仕事あり層、将来のための取り組みあり層では、ポジティブ評価が特に高くなっており、ネガティブを約40pt上回りました。

・一方、高校2年生では、ネガティブが約2割と高く、加重平均も最も低い結果となりました。また、満足度と同様、中学生より高校生で標準偏差が大きいことが分かりました。

### Q19.1年後のあなたは幸せだと思いますか。

		WB前 (n)	1 まったく幸せではないと思う	2	3	4	5	6	7	8	9	10 とても 幸せだと思う		
全体		(885)	3.1	2.6	3.3	4.2	15.8	16.0	19.1	18.1	6.3	11.4		
中学生	中学生計	(500)	2.0	3.0		20.4		15.4	22.0	19.4	7.6	7.2		
	男子	(250)	2.0	3.6	4.0	18.4	10.8		25.2	18.4	8.4	8.4		
	女子	(250)	2.4	2.0		22.4		20.0	18.8	20.4		6.8	6.0	
	1年	(142)		3.5		25.4		14.8	16.9	21.8	6.3	9.2		
	2年	(197)		3.0	3.6		21.8		15.2	21.8	16.8	10.2	6.6	
	3年	(161)		2.5	3.7	2.5		14.3	16.1	26.7	20.5	5.6	6.2	
	首都圏	(166)		2.4		21.7		14.5	19.3	19.9	8.4	8.4		
	その他	(334)		2.1	3.3		19.8		15.9	23.4	19.2	7.2	6.6	
高校生	高校生計	(385)	4.8	3.6	4.7	5.5	11.2	16.7	16.1	16.8	5.0	15.7		
	男子	(135)	5.2	5.2	3.0	3.7	8.9		18.5	17.0	14.8	5.9	17.8	
	女子	(250)	4.4	2.0	6.4	7.2	13.6		14.8	15.2	18.8	4.0	13.6	
	1年	(95)	4.2	4.1	2.9		11.2		13.3	23.0	22.3	4.8	12.6	
	2年	(139)	7.8	3.3	7.2		9.4	7.8		18.7	16.7	13.9	2.7	12.6
	3年	(151)	2.5	3.5	4.7	3.6		14.4		17.2	10.6	15.5	7.2	20.8
	首都圏	(127)	4.0	2.3	5.3	3.0	7.5		20.1	15.5		24.6	16.0	
	その他	(258)	5.2	4.2	4.4		6.7	13.1	14.9	16.4	12.9	6.6	15.6	
具体的にやりたい仕事あり	(435)	2.5	2.7	3.5		10.7	12.9	19.0		19.9	9.7	16.8		
将来のための取り組みあり	(431)	2.1	2.6	3.4		13.4	15.2	18.3		20.8	7.4	15.6		

※選択肢 (1:まったく幸せではないと思う～10:とても幸せだと思う) ※ネガティブ=1～3 ニュートラル=4～7 ポジティブ=8～10

※2%未満のスコアは非表示 (%)